

花めぐりMAP

旭山公園 旭山三浦庭園

旭山公園 北邦野草園

あさひかわ北彩都ガーデン

神楽岡公園 緑のセンター



公益財団法人旭川市公園緑地協会が管理運営する施設の紹介です。

嵐山公園 北邦野草園①



住所 上川郡鷹栖町 嵐山公園センター
電話 0166-55-9779
開園 4月29日～10月15日(降雪・融雪状況により変更あり)
時間 9時00分～17時00分(入園時間は16時30分まで)
休園 開園期間中は休まず開園(悪天候などで閉園する場合あり)
料金 無料

緑深い園内には、約600種類の植物が生育し、北方系野草の集成群としては、国内で唯一の野草園です。面積は、12.25ヘクタール、散策路は全長5.2キロメートルあり、30分、1時間、2時間などの散策コースがあります。広大な園内は起伏にとみ、地質学的にも大変興味深い自然環境となっています。

早春から晩秋まで、切れ目なく季節を彩る多種多様な野生の植物が開花し、自然観察や散策などでたくさんの方々が訪れ、親しまれています。



旭川市公園緑地協会ホームページ
「北邦野草園」→



エゾリュウキンカ



エゾミソハギ



エゾトリカブト



ミスバショウ



エゾヤマハギ



ヤマシャクヤク



神楽岡公園 緑のセンター②



住所 旭川市神楽岡公園 電話 0166-65-5553
時間 9時00分～17時00分
休館 年末年始(12月30日～1月4日)
第2・第4月曜日(祝日の場合翌日)
11月1日～3月31日の期間は毎週月曜日が休館
料金 無料

「旭川市緑のセンター」は、四季折々、自然の彩りにつつまれる神楽岡公園の中に設置され、身近に生きづく自然の恵みを、毎日の暮らしに、そして明日の街づくりに生かしていくためにその中心的な役割を果たす施設です。

植物展示室では一年中、ヤシ類、サボテン類の熱帯植物やパイナップル、バナナなどの展示、また季節の花を飾ったフラワーコーナーなど、楽しい緑の施設です。相談コーナーには相談員を常駐し、皆様の園芸に関する相談に対応しています。



旭川市公園緑地協会ホームページ
「緑のセンター」→



旭山公園 旭山三浦庭園③



住所 旭川市東旭川倉沼(旭山動物園隣り)
電話 0166-36-6811
開園 4月29日～10月15日(降雪・融雪状況により変更あり)
時間 9時00分～17時00分
休園 開園期間中は休まず開園(悪天候などで閉園する場合あり)
料金 大人(高校生以上)300円・障がい者及び介助者150円
※旭山動物園との入園料設定もあります。

旧三浦庭園は、旭山動物園に隣接する個人所有の静かな和風庭園でした。故三浦猛さんが昭和40年から造成して以来、数十年間に渡り手間を惜しまず愛情を込めて日々の管理を行い培われてきたものです。

広さは2.9haにもなり、6月下旬～8月上旬にかけ約2,000株の色とりどりの睡蓮(スイレン)の花が咲き、数多くの野草を見ることが出来ます。

三浦さんが亡くなった後、平成23年に閉園。旭川市が平成24年に取得して再整備を行い、公園施設として管理運営を行うこととなりました。

(平成26年7月5日リニューアルオープン)



旭川市公園緑地協会ホームページ
「旭山三浦庭園」→





あさひかわ 北彩都ガーデン④



住 所 旭川市宮下通7～9丁目、宮前1～2条1丁目
規 模 面積約12h a
植栽数 花木類・宿根草およそ300種類8万株
料 金 無料

北彩都ガーデンは旭川駅と直結し、忠別川と一体となった旭川らしい他に類を見ない立地条件を踏まえ、ガーデンを「まちなかのオアシス」としてとらえ、市民がくつろぎ、外からの観光客に旭川らしさを感じてもらい、動植物にとってもくつろげる空間をつくり出す事としました。

旭川駅南エリアにおいては、忠別川と一体的な空間となるよう広場デザインとし、やわらかいおおらかでシンプルな空間をつくり出しています。このエリアの草花植栽は、忠別川流域に生育する自生種を一部用い、旭川の自然を美しく魅せ楽しめる空間となっています。

この他のエリアにおいては、ハーブを用いたガーデンや旭川の農業を伝えるベジタブルガーデンなど、場所毎におけるアクティビティも多様なものとなる空間となっています。

このガーデンを拠点とし多くの市民が草花の植栽や管理、活用に今後関わって行く事で、旭川らしいガーデン文化が創造、成熟して行く事を目指しています。

問合せ窓口 ガーデンセンター
〒078-8392 旭川市宮前2条1丁目
電話 0166-74-5966 FAX0166-74-5967

